

平成 19 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヒ ュ ー ネ ッ ト
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兵 頭 利 広
 (JASDAQ : コード番号 8836)
 問 合 せ 先 取 締 役 総 務 部 長 門 倉 勇 治
 (TEL : 03 - 5204 - 3161)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期中間期につきまして、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 5 月 7 日に発表いたしました平成 20 年 3 月期中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）および平成 20 年 3 月期通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたします。

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想の修正

(1) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間純利益
前回発表予想 (A)	19,800	580	210	660
今回修正予想 (B)	12,850	5	△770	△13
修正額 (B - A)	△6,950	△575	△980	△673
修 正 率	△35.1%	—	—	—
(ご参考) 平成 19 年 3 月期中間期実績	6,486	△1,791	△2,234	△12,687

(2) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間純利益
前回発表予想 (A)	18,000	550	200	650
今回修正予想 (B)	12,890	150	△550	△560
修正額 (B - A)	△5,110	△400	△750	△1,210
修 正 率	△28.3%	—	—	—
(ご参考) 平成 19 年 3 月期中間期実績	6,335	△1,353	△1,783	△11,035

2. 平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正

(1) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	31,000	1,750	1,320	1,600
今回修正予想 (B)	24,500	1,210	310	1,060
修正額 (B - A)	△6,500	△540	△1,010	△540
修 正 率	△20.9%	—	—	—
(ご参考) 平成 19 年 3 月期通期実績	17,885	△7,236	△9,071	△37,404

(2) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	28,500	1,600	1,200	1,500
今回修正予想 (B)	24,500	1,350	520	520
修正額 (B - A)	△4,000	△250	△680	△980
修 正 率	△14.0%	—	—	—
(ご参考) 平成 19 年 3 月期通期実績	17,446	△5,680	△7,723	△37,375

※ 上記の通期予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

3. 中間業績予想の修正理由

<連結>

売上高につきましては、商業ビルおよび1棟マンションの4物件で6,700百万円、開発用地6物件で8,800百万円、戸建・土地区画・マンション分譲及び賃料収入等で4,300百万円の計画に向けて販売活動に努めてまいりました。しかしながら平成19年9月末迄の引渡しに努めました物件が、引渡し条件が整わずに都内の1棟が契約済ではあるものの、分譲マンションの一部売上が下期にずれ込むこと及び郡山の分譲宅地の造成工事が遅れて下期からの販売となることから計画を下回り、売上高は12,850百万円の見込みです。

利益面では負債圧縮を早期に進めるため、第2四半期に2物件のマンション事業計画を中止して更地での売却を実施しました。他1物件は仕入れ契約済みでしたが、地位継承により譲渡したことにより3物件が赤字計上となり利益を圧迫しました。

また、販売費及び一般管理費の圧縮に努めてまいりましたが削減計画まで至らなかったこと、借入残高は平成19年9月末迄には期初より28,978百万円を圧縮しましたが、金利負担が同9月まで改善しなかったことにより営業利益は5百万円、経常損失は770百万円となる見込みです。中間純利益につきましては、連結子会社の特別利益の計上がありましたが、13百万円の中間純損失となる見込みです。

<個別>

売上高につきましては、平成 19 年 8 月 1 日にコブコ株式会社を吸収合併したことにより連結業績と変わりません。利益面につきましては、連結業績の修正理由と同様に推移し、営業利益は 150 百万円、経常損失は 550 百万円、中間純損失は 560 百万円の見込みです。

4. 通期業績予想の修正理由

<連結>

通期の業績予想は、下期にずれ込んだ物件の売上が寄与するものの期初計画を 6,500 百万円下回る 24,500 百万円の見込みです。利益につきましては、上期の損失をリカバリーすることが厳しい状況ですが、上期に不動産の匿名組合に出資した分の利益計上も予定しており、また借入残高が期初の 36,457 百万円から 7,479 百万円に減少したことによって金利負担も圧縮となり、営業利益は 1,210 百万円、経常利益は 310 百万円、当期純利益は連結子会社の特別利益が貢献し 1,060 百万円の見込みです。

<個別>

売上高につきましては、平成 19 年 8 月 1 日にコブコ株式会社を吸収合併したことにより連結の業績予想の修正と変わりません。利益面につきましては、連結業績の修正理由と同様に推移し、営業利益は 1,350 百万円、経常利益は 520 百万円、当期純利益は 520 百万円の見込みです。

今後につきましては、不動産事業の更なる強化、コスト削減への取組みを中心に、中長期にわたる成長と企業価値の向上を図るよう努めてまいります。

以 上